

令和7年度

# 新入学説明会



小樽市立山の手小学校

小樽市立山の手小学校

# Ⅰ 小学校教育生活に向けて

- (1) 学校で大切にしていること
- (2) 学校で一括購入するもの
- (3) ご家庭で用意していただくもの
- (4) 保護者の皆様へのお願い

# (1) 学校で大切にしていること

## ① 基本的な生活習慣

マナーを守って食事



自分のことは自分で



安全に登下校

# (1) 学校で大切にしていること

## ②基本的な学習習慣

「はい」とお返事



先生や友達のお話をしっかり聞く



自分の名前書けるかな



やまのて たろう



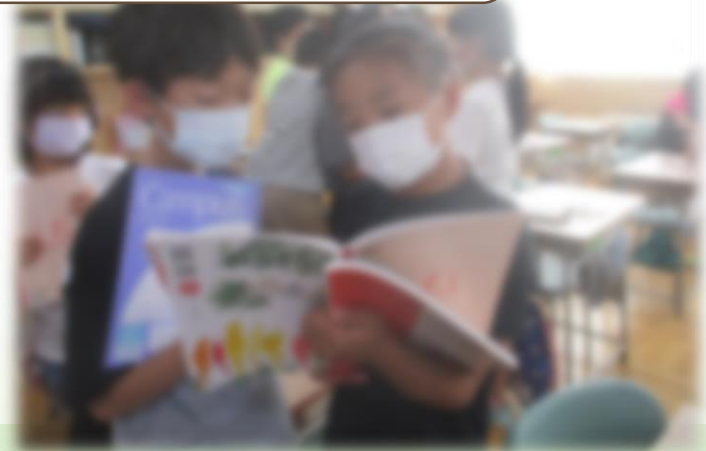


# (1) 学校で大切にしていること

## ③友達と仲良くする



友達と一緒に成長しよう!



## (2) 学校で一括購入するもの

ご家庭で購入する必要はありません。

<input type="checkbox"/> 連絡袋(A4版)	<input type="checkbox"/> 粘土板
<input type="checkbox"/> ノート(国語・算数)	<input type="checkbox"/> 赤えんぴつ、青えんぴつ
<input type="checkbox"/> 体育帽子	<input type="checkbox"/> ポケットファイル(音楽用)
<input type="checkbox"/> クレヨン(16色)	<input type="checkbox"/> 名前ペン
<input type="checkbox"/> 色鉛筆(12色)	<input type="checkbox"/> 縄跳び(色希望調査あり)
<input type="checkbox"/> はさみ	<input type="checkbox"/> 発表ホルダー
<input type="checkbox"/> のり	<input type="checkbox"/> 折り紙(ケース付き)
<input type="checkbox"/> ボンドタッチ	<input type="checkbox"/> 入学記念写真
<input type="checkbox"/> 粘土(へら付き)	計 7400円

### (3) ご家庭で用意していただくもの

#### ①学用品

☐ 筆入れ(鉛筆が5～6本入る箱形のもの)

☐ 消しゴム(よく消えるもの)

☐ 定規(折りたたみ式はおすすめしません。)

☐ 鉛筆  
(Bまたは2B 基本的にキャップは必要ありません。  
シャープペンシルは禁止しています。)

☐ セロテープ(カッター付きのもの)

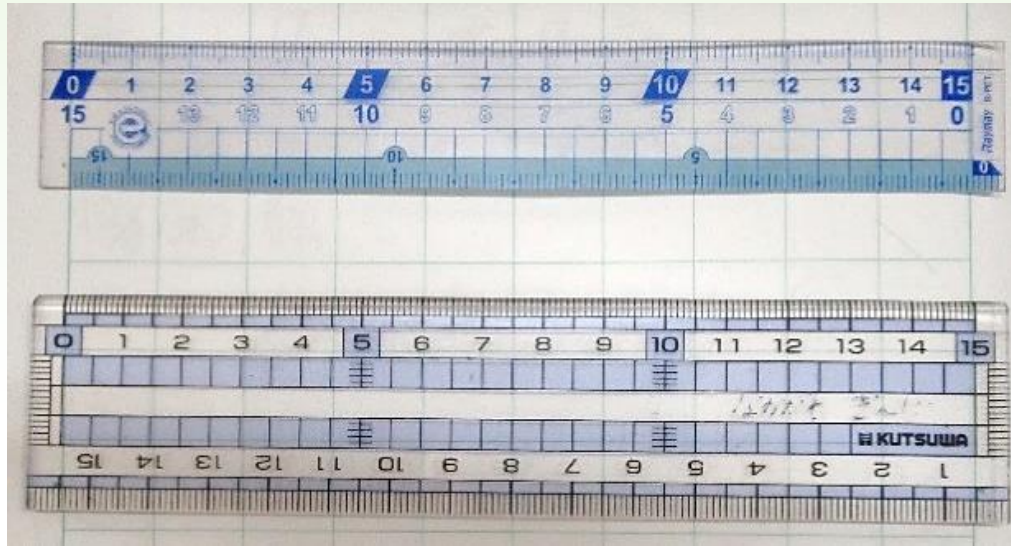
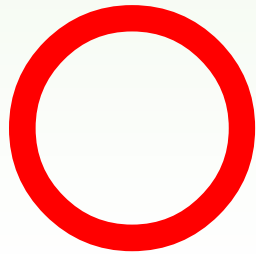
# 筆入れの中は…



- 鉛筆 4～5 本  
Bか2B
- 消しゴム
- 定規
- 赤鉛筆
- 青鉛筆
- 名前ペン



# シンプルで、使いやすいものを！



使いやすい！  
見やすい！



### (3) ご家庭で準備していただくもの

②通学用かばん

③ハンカチ、ちり紙、掃除用マスク

④身支度セット

⑤給食セット

⑥雑巾2枚と洗濯ばさみ2個

⑦必要に応じて

- ・座布団

- ・水筒（水・お茶・スポーツドリンク等  
水分補給に適したものを、  
ご家庭で判断してください）

# 身支度セットは…

給食用のエプロン、三角巾、マスク

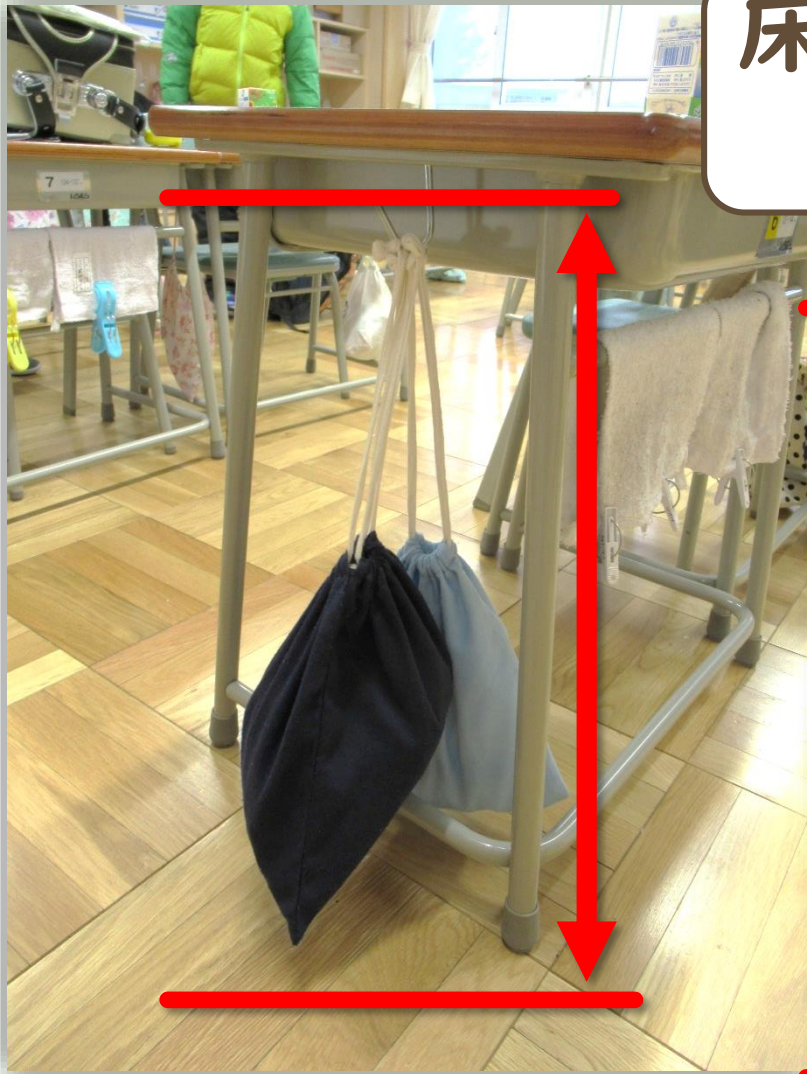


自分で脱ぎ着できるもの  
毎週金曜日に持ち帰ります



# 身支度の袋は…

床につかない高さ  
= 30cm くらい



30  
cm  
以内に



# 雑巾・洗濯ばさみは…



1枚は机の前にか  
け、洗濯ばさみで  
とめます。  
日常のつくえ拭き  
用に使います。

もう1枚はロッカーで保管し、図工などの  
学習や、水をこぼしたときなどに使います。  
どちらも記名をお願いいたします。

## (4) いじめの問題への取組

- ・学校では、「いじめ防止基本方針」に基づいて対応いたします。(HPに掲載されています)
- ・いじめとは、一定の人間関係にある他の児童が行う心理的または物理的な影響を与える行為です。
- ・いじめは、いつでも起こり得るものと考え、早期発見、早期解決に努め、日頃の観察に加えて、年間複数回のいじめアンケートをとります。
- ・いじめが起きにくい、許さない環境づくりに向けて、あたたかい学級経営を進めます。
- ・いじめが犯罪行為に相当し得ると認められる場合は、警察に通報します。

## (5) 児童虐待の対応について

・身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待の疑いがある場合は、学校は、市の子ども家庭課や児童相談所に通告する義務があります。場合によっては警察に通報することもあります。

あたたかい言葉～声掛けのSDG

S:すごいね、すばらしい、さすが

D:どうしたの?、大丈夫?

G:がんばったね、グッド!

## (6) 保護者の皆様へのお願い

- ・学校生活に慣れることができるように
- ・持ち物の準備は一緒に
- ・安全に登下校できるように
- ・玄関前への車の乗り入れはご遠慮ください
- ・玄関は朝8時10分に開錠します
- ・お兄さんやお姉さんを待つことはできません  
(児童クラブで待つことはできます。)

**保護者・地域・学校が力を合わせて  
子ども達を育てていきましょう。**





## 2 保健室より



# 健康で楽しい学校生活を送るために

毎朝の健康観察をお願いします。

- ▶ 頭痛、腹痛、熱はありませんか？
- ▶ 顔色はよいですか？
- ▶ 朝ごはんはいつもどおり食べられましたか？
- ▶ 排便をした様子がありますか？

など



体調が悪い時には無理をさせず、  
登校を見合わせるようにお願いします。

# 生活習慣について



## ▶ 睡眠

1日9時間～10時間の睡眠が必要。

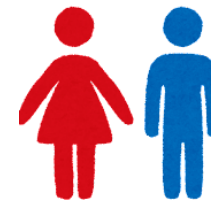
夜9時までに布団に入るようにして、睡眠時間を確保してください。

## ▶ 朝食

1日のエネルギーとなる朝ごはんを必ず食べる習慣を身につけてください。

## ▶ 排便

登校する前に排便できると望ましいです。



## 保健室で行うこと



- ▶ 医療機関に行くまでもない、もしくは行くまでの軽微のケガの処置や休養



- ▶ 内服薬は置いていません。
- ▶ 学校でのけがの処置
- ▶ お家の方にお迎えをお願いする場合があります。



## 学校でケガをした場合

- ▶ 学校管理下で医療機関を受診した場合、スポーツ振興センターから給付金が支給されます。
- ▶ 窓口で自己負担1500円以上が対象



※申請には必要書類が必要です。

※学校でのケガで医療機関を受診した際はお知らせください。

## 早退をお願いする場合



- ▶ 発熱や体調不良等で学習活動を継続するのが難しいと判断した場合
- ▶ ケガ等で医療機関を受診をお願いしたい場合



必ず 日中に連絡のつく連絡先を学校にお知らせください。

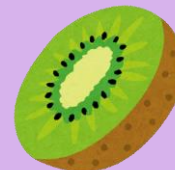
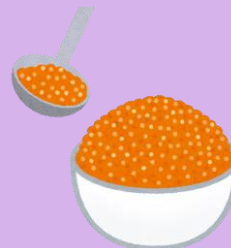


# 食物アレルギーについて



## 2学期から完全除去（10品目）

- ・そば    ・落花生    ・くるみ    ・あわび
- ・いくら    ・カシューナッツ    ・アーモンド
- ・マカダミアナッツ    ・キウイ    ・ヤマイモ



牛乳の  
提

卵除去  
医

献立明

医

# アレルギーについて

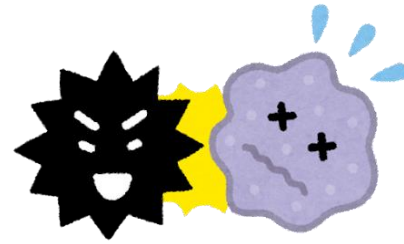
- ▶ お子さんの健康状態に関して、食物アレルギーに関わらず、持病がある場合や、何か心配な体質等がある場合は必ず学校までお知らせください。



入学時に**健康調査票**をお配りしますので、お子さんの健康状態についてご記入をお願いします。



# 学校感染症



学校感染症に指定される主な病気	
インフルエンザ	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）
風しん	麻疹
水痘（みずぼうそう）	咽頭結膜熱（プール熱）
ウイルス性胃腸炎（ノロウイルス, ロタウイルス）	ヘルパンギーナ
手足口病	溶連菌感染症

学校感染症に罹患した場合、欠席ではなく出席停止となります。

罹患した際には、**必ず学校にお知らせください。**

（診断書提出の義務はありません。）

新型コロナウイルス感染症についても、出席停止となります。

# 3 特別支援教育について



# (1) 特別支援教育とは

通常の学級に在籍している子どもたちの中には、学習や集団生活等の学校生活において「がんばりたいと思っても、どうしてもうまくいかない。」と困っている子が、少なからずいることが分かってきました。

- いつもそわそわしていて、落ち着きがない。
- すぐにカッとなりやすい。
- 興味があるものにすぐにとびつき、待てない。
- 整理整頓が苦手で忘れ物も多い。
- 集中の持続が難しい。 など





- 一生懸命聞いているのに、内容や指示が理解できない。
  - よく話すが、話がどんどんずれてしまう。
  - 極端に不器用で、動きがぎこちない。
  - 教科書の文字がうまく追えず、細かな部分が不正確になりやすい。
  - 苦手な教科や課題があり、努力してもなかなか身につかない。
- など





- 友だちとのコミュニケーションがうまくとれない。
- 指示通りの方法でしか物事を行わない。
- 決まったことが変更になると不安を感じてしまう。
- 融通が利かず、頑固で反省心が薄い。
- 失敗することへの恐怖心が強い。 など



こうしたお子さんのできない理由を「性格」、  
「やる気のなさ」、「努力不足」、あるいは  
「しつけ」に求め、あきらめてしまっている  
ことはないでしょうか。

適切な指導や支援があれば、もっと伸びて  
いきます。

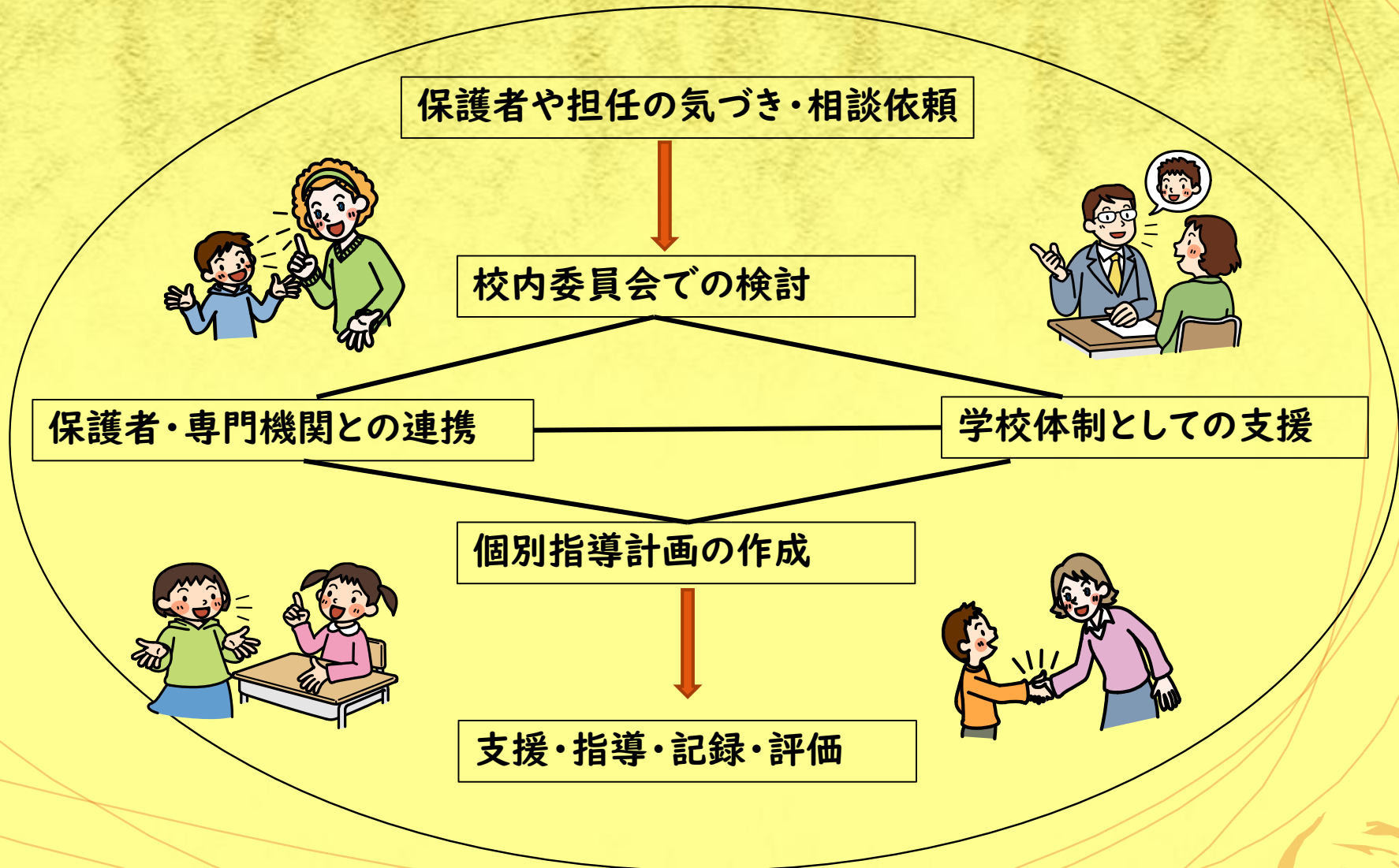


「学校全体ですべての子どもたちに、  
その子の教育的ニーズに応じた特別な  
支援をしていこう」というのが、特別支援  
教育です。





## (2) 相談から支援までの流れ



# (3) 支援の内容(例)

- 計算用紙・原稿用紙やノートのマス目を大きくすると書きやすいようだ。
- 教科書に色や印を付けたり、定規を当てたりすると音読しやすいようだ。
- 座席を前にすると、集中できるようだ。
- 分かりやすい1日のスケジュール表があると混乱しないようだ。
- 事前に行動のルールを決め、ひとつひとつチェックさせると落ち着くようだ。
- 行動の前に、声を掛けると集中できるようだ。
- 言葉だけではなく、掲示物があると分かりやすいようだ。
- 指示は短く、分かりやすい言葉で伝えると理解できる  
ようだ。 など



困り感のあるお子さんにとって何が必要か、  
保護者の皆様と相談させていただきながら、共  
に連携を図っていきたいと考えております。

ご家庭で何かお気づきの点がございましたら、  
学級担任やコーディネーターまでご連絡く  
ださい。